



みどりを育む

横造協だより

発行 Vol.25
社団法人 横浜市造園協会
広報委員会
横浜市中区尾上町1-6 住友生命横浜関内ビル7階
TEL 045-662-9897 FAX 045-664-5633
http://www.yokohamashizoen.or.jp



「緑豊かなまち横浜」を次世代に継ぐ

横浜市副市長
山田 正人

【はじめに】

昨年は、APEC横浜開催、羽田空港の国際化と、横浜を内外にアピールする大きな出来事がありました。多くのお客様をお迎えするとともに、メディアを通じて発信されたことで、横浜らしい魅力ある緑の街並みを多くの方々に知っていただくことができました。また、昨年度まで実施



園庭芝生化

【横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)】

横浜市は、平成21年度から、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「樹林地を守る」「農地を守る」「緑をつくる」を3つの柱として、横浜みどり税を財源として活用し、横浜みどりアップ計画新規・拡充施策に取り組んでいます。「樹林地を守る」施策では、「緑の10大拠点」のよう



なに残る斜面緑地などの貴重緑について、所有者のご協力を得ながら、特別緑地保全地区・市民の森・緑地保存地区などの地区指定による保全を進めており、これまで約150haの新規指定を行っています。また、明るく健全な樹林地とするため、市民の森などで間伐を主とした手入れを実施するとともに、保全された民有樹林地の維持管理について約100件の助成を行いました。さらに、樹林地の保全等の大切さについて理解を深めるための講座等を実施し、多くの市民の参加を得ています。

【公園の整備】

市民の皆様にとって身近な公園は、子どもの遊び場、地域コミュニティの形成、健康づくり、自然体験、防災などの場として重要であり、魅力アップや長寿命化などのために、重点的に再整備や改良を進めます。また、多様なレクリエーションにも対応するため、大規模な公園やスポーツができる公園などの整備を進めます。



菊名桜山公園

【おわりに】

本年は、「横浜市中期4か年計画」の本格スタートの年です。また、環境を取り巻く状況の変化に対応し、環境行政を総合的に推進するため、新たな「横浜環境管理計画」の策定や、世界的に重要な課題である生物多様性の保全について、今後の取り組みを策定し、「生物多様性横浜行動計画」の策定を進めており、4月に公表する予定です。公園や緑地の保全・創造につきましては、これらの様々な関連施策と連携し、総合的に取り組んでいきたいと考えております。

「農地を守る」施策では、10年間水田を保全し水稲耕種を継続する水田所有者に、水田を維持するための奨励金を交付する制度を行っています。約100haの水田の保全が図られています。また、市民が身近なところで地産地消を実現できるように、果樹のもぎ取りなどの収穫体験ができる農園の開設について、約3haの農園に支援を行っています。さらに、農業振興と農地保全の担い手である農家の経営改善に支援を行っています。

横浜市は、平成21年度から、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「樹林地を守る」「農地を守る」「緑をつくる」を3つの柱として、横浜みどり税を財源として活用し、横浜みどりアップ計画新規・拡充施策に取り組んでいます。「樹林地を守る」施策では、「緑の10大拠点」のよう

去年の八月に藤巻会長の後を、不肖私が会長という大役をおおせつかりました。微力ではございますが、協会の発展のため、全力を尽くす所存でございます。

さて、百年に一度と言われた世界的経済不況も今年の後半には上向きに転換するとのマスキミの報道もあります。公共工事の縮減、入札制度の見直しなどで、ま



環境緑化の専門家として ビジネスチャンスを活かそう

(社)横浜市造園協会 会長 生駒隆一

保全制度による樹林地を守る、農地を守る、緑をつくるなど、横浜みどりアップ計画の施策事業が着実に進

め、積極的に行動してまいります。また、当協会は公益法人改革に対応するため、法人化特別委員会を立ち上げ

今年には計画の3年目を迎えますので、これまでの課題を踏まえ、一部の事業で統合などの見直しを行うなど、計画の目標達成に向けて、より一層、市民の皆様と連携しながら、事業を着実に進めてまいります。

また、みどりアップ計画はみどり税を財源として活用していることから、事業の着実な推進はもちろんのこと、市民の皆様にも成果を実感していただくことが重要だと考えています。そのため、区や地域での身近な実績がわかるような広報や、写真や映像によるわかりやすい広報など、一層の充実を図ってまいります。

また、「みどりアップ」を推進するため、市民の皆様から大規模な公園や緑地の保全・創造につきましましては、これらの様々な関連施策と連携し、総合的に取り組んでいきたいと考えております。

横浜市造園協会の皆様には、樹林地の維持管理や緑化、公園の整備など、横浜の緑をつくり、育む担い手として活躍していただいています。今後も、皆様のご知恵や技術を結集していただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

略歴

山田正人 昭和42年10月4日生
平成3年3月 東京大学法学部卒業
平成3年4月 通商産業省採用
平成10年5月 デューク大学経営大学院修了
平成20年7月から平成21年3月まで 渋谷区次世代育成支援地域協議会委員
平成21年7月 経済産業省中小企業庁企画課調査室長
平成21年11月 経済産業省大臣官房総務課企画官
平成21年12月 横浜市副市長

平成23年 新年賀詞交歓会を開催

平成23年1月7日(金) ホテル横浜カールデンにおいて、平成23年新年賀詞交歓会を開催した。

横浜市長 林文子様、横浜市会議長 大久保純男様、自民党横浜支部連合会会長 松本純様にご祝辞をいただき、副市長 山田正人様のご乾杯のご発声で開会。
環境創造局長 荻島尚之様、技監 道路局長 川口正敏様、衆議院議員 菅義偉様はじめ多くのご来賓にご参会いただいた。



の様々な企業の活性化につながると思っております。

また、平成21年度から導入された横浜みどり税の一部を財源に、横浜みどりアップ計画など多様な施策・事業が市民のため将来の子供たちのために行われております。

「人々に潤いと安らぎを与えてくれるみどり」、そんな緑が失われつつある現在、緑をどう守っていくか。緑の減少に歯止めをかける

ると共に緑の総量と質をどう維持向上させ、「みどり豊かな街横浜」を実現するために一層の努力をして参りたいと存じます。

そのためには、横浜公園緑地等の予算の確保を是非お願いいたします。

(あいさつ 要旨)

緑の総量と質の維持向上へ

会長 生駒隆一

経済情勢が大変厳しい状況の折、協会事業が運営出来ずことは、皆様方のご尽力のお陰と深く感謝を申し上げます。

昨年11月に横浜で開催されたAPEC首脳会議は、国際都市横浜が世界に知られたことにより一層の発展が期待され、市内

市内の公共事業適正発注を

横浜市長 林 文子

造園協会の皆様には緑化の推進・緑地の保全や公園の整備また維持管理にお力添えをいただいておりますこと、また昨年度まで実施しておりました150万本植樹行動について、皆様からの樹木のご寄付もあり目標を上回る185万本の植樹をすることが出来ましたこと、お礼を申し上げます。

11月のAPECでは横浜を内外にアピールする貴重な機会を得て、内外の多く



新年賀詞

のお客様をお迎えすることが出来ました。横浜の魅力を実感していただき、日頃からの皆様のご尽力のお陰

で、横浜は水と緑が素晴らしく美しい街とお褒めをいただきました。また会場周辺をハンギングバスケットの花で飾っていただきありがとうございます。

横浜みどりアップ計画は21年4月にスタートし、現在2年目の取り組みです。昨年度は造園協会の皆様や本日ご出席の議会の先生方のご理解とご協力で、緑地保全制度による指定の推進・支援、幼稚園・保育園・学校の芝生化など良いスタートダッシュが切れま

した。今年は更に取り組みを加速し造園協会皆様のご

尽力によりその成果を市民の皆様にご覧いただけたと思いますのでよろしくお願ひ申し上げます。

市長に就任し1年4か月が経ちました。今年「対話」を大切に市政を進めて参ります。

これまでも現場の声を第一にやってみようとしたが、私はお一人おひとりの市民の方々がどんなお考えでいらっしゃるか、もっともとお話合いを深めていきたいと思っております。それにはやはり市民皆様の声、議会の先生方のご意見、そして今日お集まりの造園

協会の皆様のご意見などを伺い、市民皆様のために何をしたらいいかということ、日夜考えなくてはいいないと思っております。

造園協会の皆様は、お仕事を通じ肌で市民の皆様と触れられていますから、正に生活の息吹をいつも感じて暮らしていらっしゃると思ひます。

そういう方のお考えを聞かずして決して市政が動くものではないと、私「対話」という言葉を掲げさせていたが、私には、どうぞ今年も健やかに皆様お元気で活躍ください。

(あいさつ 要旨)

安全パトロール

横浜市造園技術交流会

第24回工事安全パトロール実施

1月27日 横浜市造園技術交流会(環境創造局・当協会)で第24回工事安全パトロールを実施。
実施箇所
・玄海田公園西口広場ほか
・整備工事
・横浜公園再整備工事



工事現場の安全を図って

環境創造局から 道・公園工事(委託含む)において、事故が多発して

ではないかと思ひます。横浜市民が幸せになり、この市が世界に誇れる市となるように、我々が精一杯頑張っていくことが、日本をまた浮上させていくことになると信じています。そのため、まずは経済活性化です。市内の公共事業の適正発注なども非常に大切であり、そこもしっかりと

らえて計画を立てておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

どうぞ今年も健やかに皆様お元気で活躍ください。

安全委員会主催

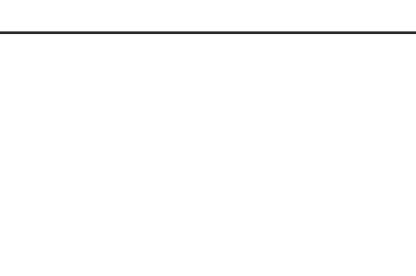
委託安全パトロール実施

11月24日(南部方面)・12月8日(北部方面) 当協会安全委員会が委託安全パトロールを実施。
実施箇所
・磯子区いきいき街路樹事業
・磯子区街路樹維持 業務委託
・港南区街路樹維持 業務委託
・港北区街路樹維持 業務委託
・都筑区いきいき街路樹事業
・青葉区西部いきいき街路樹事業
・青葉区西部いきいき街路樹事業 業務委託

高い安全意識で作業

委員会から 委託安全パトロールは、街路樹の維持管理に対する安全対策の強化を図ることを目的として実施した。

はしごの転倒防止処置の徹底・標識類の配置の工夫や高所作業車の使用等、作業員が高い安全意識を持つ



「危険予知 一人の目よりみんなの目 みんなの予知で無災害」を再度認識し、新年度も無事故・無災害をお願いしたい。

て作業をしていた。本年度の標語

樹木に魅せられて (第20回)

奈良造園土木株式会社

植栽基盤診断士
一級造園施工管理技士

石鍋 満里子

緑の中に
いることが
好き



子どもの頃といえば、学校から帰ってくると、ランドセルを家にポンと置いて外へまっしぐら。近くの雑木林で植物や虫を探したり、公園で木登りをしたりして、日が暮れるまで外で遊んでいました。

特に植物には興味があり、コブシの奇妙な拳形の実の身はどうなっているのかとつぶしてみたり、ハクウンボクの実を集めて枕

にしようと思い、毎日学校の帰り道にポケットに入る分だけ少しずつ拾って帰ったりしました。ヤマモモやグミの実をおやつ代わりに食べたりもしました。イチヨウの黄葉した葉を集めて花束のようにしてみました、ドングリを集めて食べてみたりコマヤシロベエを作ってみたりと、生活の中に緑があることが当たり前で、緑の中にあることが大好きでした。

高校生の頃将来自分は何かをしたいかと考えたとき、漠然としたが緑の中に行きたい仕事かと思っていました。緑を守り、緑を増やす、緑をデザインする。そんな仕事はないものかなあと。そんな時に初めて知ったのが造園業です。調べてみると自分がやってみたいこと、面白そうなこと、それが全部そこにあるじゃないと正直思いました。

決めたらもう一直線です。造園を学べる大学に進学し、その後は地元横浜の造園会社に就職しました。現在は奈良造園土木(株)で「好きなこと＝緑の中にあること」を仕事にしています。日々勉強ですが、とてもやりがいのある仕事だと思っています。そして、好きなことを仕事にしたいです。

うな家族構成なのか、庭でどんなことをしたいのか、奥様の趣味はどのようなか、庭の手入れはどのくらいまでできるのかなど、いろいろお話を伺いました。小さなお子様がいたので砂場を、ハーブが好きな奥様のためのハーブガーデン、ゆったりくつろげるウッドデッキなどを提案させていただきました。

提案したデザインにお客様が満足していただいた時はとても嬉しかったです。またそれを造らせてもらえ、「なんてやりがいのあることなのだろう」と思いました。

ただ話を進めていく過程で、自分たちにとっては当たり前のようなことでも、お客様にとっては初めてのことがたくさんあるのだ、とひしひしと感じました。

そこでわたしは樹木や花、芝生などの手入れの仕事を簡単にまとめた冊子をつくりました。お客様に庭の完成後差し上げたところ、大変喜んでいただきました。これからもお客様の立場に立って、より良いもの提供していけたらと思っています。



お客様と一緒に造った庭



推定樹齢500年の大柱

今では月に2回ほど山登りやハイキングにでかけ、素晴らしい景色やかわいい植物たちに新たな発見や刺激をもたらしています。また緑の中にあると、日頃のストレスから解放され、リフレッシュできます。

「好きなこと」を仕事にしたいです。日々勉強ですが、とてもやりがいのある仕事だと思っています。そして、好きなことを仕事にしたいです。

身回りの植物から、山に生息する植物のことまで、「あなたに任せれば大丈夫」と太鼓判を押してもらえるような樹木医になりたいです。

「好きなこと」を仕事にしたいです。日々勉強ですが、とてもやりがいのある仕事だと思っています。そして、好きなことを仕事にしたいです。

「好きなこと」を仕事にしたいです。日々勉強ですが、とてもやりがいのある仕事だと思っています。そして、好きなことを仕事にしたいです。

「好きなこと」を仕事にしたいです。日々勉強ですが、とてもやりがいのある仕事だと思っています。そして、好きなことを仕事にしたいです。

「好きなこと」を仕事にしたいです。日々勉強ですが、とてもやりがいのある仕事だと思っています。そして、好きなことを仕事にしたいです。

「好きなこと」を仕事にしたい

人と人の関わりが大切

夢は大きく！

請負業者表彰

- ① 石井造園(株)
- ② 鍛冶ヶ谷西公園ほか19公園施設改良工事



佐山 五輪男



- ① 篠原造園建設(株)
- ② 泉区内街路樹等植栽工事



山口 正治



石田 力也

- ① (株)誠和緑化
- ② 磯子区上町公園整備工事



石山 知広 (株)新正園

- ① 新正・早坂建設共同企業体
- ② 象の鼻地区整備工事 (その17)



平成22年度 横浜市優良工事表彰

10月28日ワークピア横浜において平成22年度横浜市優良工事表彰式が行われた。適正な工事の施工・施工技術の向上および施工者の意欲の向上を目的として、横浜市が発注した工事を優秀な成績で施工した請負業者53社(内会員会社5社)及び技術者75名(内会員会社所属9名)が表彰された。ここに受賞した会員会社の作品(①会社名②工事箇所名③現場代理人氏名 及び技術者を紹介する。

- ① 横浜庭苑(株)
- ② 横浜公園再整備工事



松尾 真吾



技術者表彰

- 朝比奈孝昌 横浜植木(株)
- 生駒武則 生駒造園土木(株)
- 石山知広 (株)新正園
- 関 浩義 田野井造園(株)
- 平 勝則 奈良造園土木(株)
- 長谷川 稔 (株)新正園
- 平野大地 ワコー緑建(株)
- 堀江栄作 堀江造園(株)
- 松居 博 (株)濱田園

作家吉川英治の幼少期、遊び場は横浜植木であった。

横浜植木株式会社
造園部顧問 小泉信三

創業120年を迎えて

吉川英治は宮本武蔵や、三國志、新・平家物語の小説家として皆様はご存じのことと思います。

氏は1892年、明治25年、南区唐沢7番地付近の横浜植木構内の自宅で生まれ、7歳まで過ごし、7歳から9歳は横浜植木の現石川小学校の校庭付近に居

自伝小説

「忘れ残りの記」から

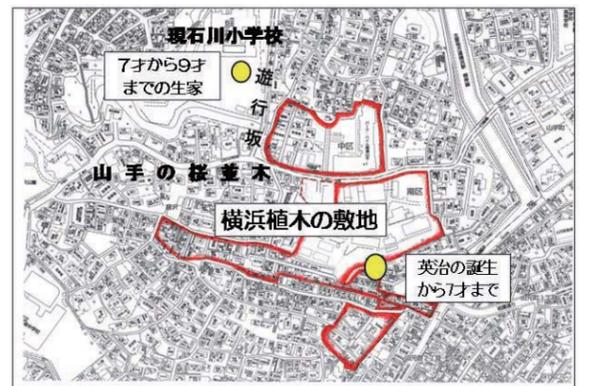
《植木会社の裏門から千歳町へ通うには、文字どうり山坂越えての半里はあった。植木会社の園内だけでも、幾方所となく上り下りの屈折があり、その表門を出て、桜並木と呼ぶ山手



吉川英治の自叙伝と現代小説

を構えていたようです。当社は明治24年創業で今年の6月で120周年を迎えます。この120年を振り返ると様々な話題に出会いますが、文化勲章受章者の吉川英治の幼少期の遊び場が横浜植木構内であったことは、かれの自伝小説「忘れ残りの記」や現代小説「かんかん虫は唄う」

の中に関係記事が記載されています。また、氏は後年この横浜植木裏門時代を故郷中の故郷として捉えています。



大正11年横浜植木の敷地(現在の地図に転記)

通りへ出、遊行坂を降りて車橋を渡る。そして町中の水天宮さまと隣りあっている私立小学校のペンキ塗りの校門をやっと見るわけだった。《

《横浜植木会社は、当時の居留外人にとっては、最も印象の深い一箇所ではなかったであろうか。日本中の花卉花木を集めた植物園といったような広さである。いつも倉庫の口から百合根を荷馬車に山と積みこんでいた。当時海外へ、日本の百合根がさかんに輸出されていたため、あんな大きな花屋の経営が成り立っていたのかも知れない。》

この頃は英治の体が小さかったので周辺がとて

と卓上の花を嗅ぐと、一応すぐその頃の追憶へ連想をもつて行かれてしまう習性がある。毎日を、花の香りに染められて通った頃の童心の幸福感が、老いたる今もどこかに潜んでいるのだか。《

《まあ、こんな風に、植木会社の裏門時代は、ぼくにとつて、故郷のうちの故郷といったようなものだった。《そこでの友だちは、園丁の子「市ちゃん」と洋傘直しの家の「徳ちゃん」だった。この三人は、程近い相沢(山元町)の町通りへでるウラに、有名な貧民窟の一郭がある。《いろいろは長屋」と呼ばれていた。》

《それはカンカン照りの暑い夏の昼だった。例のように植木会社の蝉時雨の道を通って家へ帰ってきた。《家はまた引越した。山手の俗に桜並木とよばれる植木会社の表門通りから、遊行坂の降りかかる坂の降

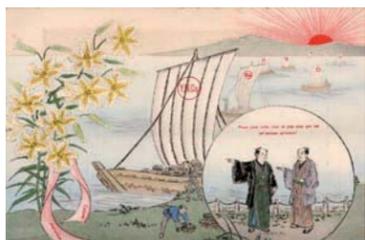
《日々の往復にぼくは四季の花々から無自覚に後年の何かを教化されていたのではないかと思っている。《会合の食卓などでも、ふ



震災前明治~大正期の横浜植木の構内



横浜植木の茶室前



明治37年の英文カタログより

り口で、座敷にいても庭越しに、横浜市街が一望に見えた。こんどは千歳町の小学校へも、三分ノ一以上近くなつた。》

《戦後山手の遊行坂の上になつて来た。そこに家のあつた七歳から九歳頃までの記憶を伴つて少し歩いてみた。桜並木のサクラは今一本も無くなつていたが、植木会社はまだ面影だけをわずかに保っており、昔の地域の所に横文字のわびしい看板だけみせている。また、坂を降りかけて左側の、ちやうど、ぼくが幼時の家のあつた辺は、今そっくり小学校(現石川小学校)の校庭になつていた》

現代小説 「かんかん虫は唄う」より

《植木商会のひろい庭園をぬけると、道が半分も近いので、彼は、通行の止め

よこはま花と緑の春フェア
2011 花壇展
開催期間 4月15日(金) ~ 5月5日(木・祝)
会場 山下公園

られては蘇鉄の葉や温室のたかいを駆けぬけた。金釘をつけた制服の園丁が、葉の蔭から彼のすがたを見たけれど、咎めなかつた。輸出向けの百合の根がたくさん蓄えられてある倉庫の間から、彼は山の手通りへ飛び出した。《

などなど吉川英治自伝小説の「忘れ残りの記」や現代小説「かんかん虫は唄う」には明治の横浜植木の様子が語られています。明治、大正の横浜植木は各種の温室や植木畑、盆栽コーナー、茶室、迎賓館的な建物などがあり、外国からの賓客が滞在できました。山手の外国人には観光スポット的な場所、英文の絵葉書が発行されていました。

※参考文献※ 吉川英治と明治の横浜(横浜近代文学研究会編)、吉川英治歴史時代文庫8及び77、英文絵葉書、弊社100年史

訃報
葛籠貫清氏 (10月22日) 赤坂造園(株) 代表取締役社長
野村 徹氏 (12月9日) 奈良造園土木(株) 代表取締役
野村直樹氏ご尊父 代表取締役
ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

終わりの言葉

3月11日の宮城県三陸沖を震源とした「東北地方太平洋沖地震」におきまして、被害にあわれた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。ともに、犠牲になられた方々とご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。被災地におきましては、日夜を問わず被災者救助や災害対策に全力を尽くしていらつしやる関係者皆様にご敬意と感謝の意を表し、私たち横浜市造園協会と致しましても支援の模索、及び協会員各社それぞれが、今出来ることを考え、被災された方々のお役に立てますよう努力していく所存でございます。

改めて被災地におかれましては、一日も早く普段の生活に戻れますよう、皆様のご無事を心よりお祈り申し上げます。
(広報委員会一同)